

無停電電源装置の更新により、 停電時も環境放射線モニタリングを継続する

【対策】50 放射線監視体制の機能維持に関する強化対策

対策概要：近年、頻発化・激甚化する災害の発生に備えるために、放射線監視体制を維持するためのモニタリングポスト等、老朽化した資機材の更新に関する強化対策を実施する。

府省庁名：環境省

【事例】アルミパネル観測局無停電電源装置更新

- 実施主体：福井県
- 実施場所：福井県
- 事業概要：近年、大規模自然災害が激甚化・頻発化しており、災害に伴う停電も多発している。原子力施設周辺の環境放射線等を24時間連続監視するため、「環境放射線監視テレメータシステム」の放射線観測局において、商用電源の停電時においても測定を継続するため、既存の無停電電源装置21台を更新。

※ 停電時の電力供給のため、無停電電源装置と非常用発電機を設置しており、無停電電源装置は非常用発電設備が起動するまでの対策、非常用発電機は長時間の停電への対策のため設置している。

- 事業費：3,591.5万円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)3,591.5万円)

- 効果：無停電電源装置と非常用発電設備により、令和4年8月の大雨による災害において商用電源が断絶した際に、放射線測定装置等の稼働停止を回避し、**環境放射線モニタリングを継続**ことができ、**周辺住民の安全を確保**した。



無停電電源装置
(今回更新)



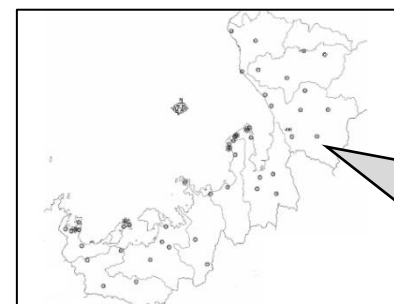
非常用発電設備

環境放射線モニタリングの概要



停電時もモニタリングを継続

福井県の放射線観測局



放射線観測局(板取局)



放射線観測局周辺の罹災状況
放射線観測局へ送電している電柱が倒壊



電柱の倒壊

